

長野市ではこれまで、2040年ごろに市内外から「選ばれる都市」となるための取組を市民の皆さんとともに進めており、令和4年度から「みらながプロジェクト」として、長野市固有の価値ともいえる「都市ブランド」を創り上げる取組を進めています。
未来に向けた長野市の都市イメージを表現する「都市ブランドコンセプト」をまとめました。

都市ブランドコンセプト

長野市らしさとは何なのか。

長野市では、市民意識調査、ワークショップなど、市民との対話を通じて、その答えを探してきました。

その結果、浮かび上がってきたのは、3つの不変的価値。

それは、「自然との調和」、「人の営みへの敬意」、「良質なアクセス」

北信五岳に抱かれた長野市は、古くから自然とともに歩んできました。
 山、川、森がすぐ近くにあり、清らかな水と空気に育まれたこの地は、
 豊かな自然の恵みが暮らしと見事に調和しています。

国宝・善光寺を有する長野市は、人の営みに深い敬意を払うまちでもあります。
 古いものを大切にしながら、新たな感性を尊重するのは門前町ならではの風景です。
 また、長野オリンピック・パラリンピックの開催は、
 様々な人々との交流を生み、多様性を理解し、お互いを尊重する土壌を育みました。

そして、北国街道が通る長野市は、交通の要衝としての歴史をそのまま引き継いでいます。
 現代においても、新幹線をはじめ、様々な場所に容易にアクセスできるハブとしての機能を備えています。

では、3つの不変的な価値を持つ長野市は、どんなまちなのか。
 これらの価値を土台にすると、どんな生き方、暮らし方を実現できるのか。

長野市は、雄大な自然に囲まれながら、他者を尊重し合い、自由に行き先を選ぶことができる。
 そこは、誰もが自分らしく自然体で生きられる、そして、安心して挑戦ができるまちです。

広く開かれた可能性の中から、自分らしい生き方を選択できるまちとも言えます。

長野市は、あらゆる可能性を受け入れます。
 街と自然、古きと新しきなど、豊富な選択肢の中から、未来に向けて自分の
 生き方を選び取り、実現することができる。
 それが、長野市らしさであると信じています。

タグライン (候補)

都市ブランドコンセプトを短い言葉で伝える「タグライン」(長野市らしさを表すメッセージ)を3つ、候補として作成しました。候補A～Cをご覧ください、ご意見・ご感想をお寄せください。

候補
A

Feelin' NAGANO

～ありのままに生きる、わたし・まち・長野市～

地理的な特性、独自の歴史文化、都市機能、仕事や生活など、様々な長野市の価値を、一人ひとりが自由に「Feelin'」=感じていく。その先に、それぞれが期待する、自分らしい生き方・暮らし方の未来が広がっていることを表現しています。

候補
B

Feel Nagano, Be Natural

～この街で、わたしらしく生きる。長野市～

地理的な特性、独自の歴史文化、都市機能、仕事や生活など、様々な長野市の価値を、一人ひとりが自由に「Feel」=感じ取りながら、「Be Natural」=自分らしい、生き方・暮らし方を実現することができるまちな姿を表現しています。

候補
C

Do Blend , Be Natural

～わたらしさが醸し出される街・長野市～

「Blend」は、自分の意思を持って、主体的に異なったものを混ぜ合わせて、新たなあり方を醸し出すこと。仕事や生活、暮らし方など数ある選択肢の中から、自由に組み合わせ、人それぞれの新たな価値を生み出すことができるまちな姿を表現しています。